カム次末が今畝供は高 古多河海中

	負 本総合整備計 囲 事後評価 書			令和05年11月30日					
計画の名	 大野市における水の循環の実現(その 2)(重点計画)								
計画の期	間 平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)		重点配分	対象の該当					
交付対	対象 大野市								
計画の目	画の目標 下水度整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。								
全体事	(百万円) 合計(A+B+C+D) 4,228 A 4,223 B 0 C 5 D	0 効果促進	事業費の割合C/(A+B+	C + D) 0.11 %					
	計画の成果目標 (定量的指標)								
			定量的指標の現況値及び目	標値					
番号	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値					
		(H30当初)	(H32末)	(H34末)					
1	「水道処理人口普及率を46%(H30当初)から56%(H34末)にする。	·	·	·					
	⊼水道処理人口普及率	46%	52%	56%					
	L理人口(人)/行政人口(人)(H29末:34,023人)								
-									
-		1							
-									
		1	1	1					

備考等	個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む -	定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む	- 流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む	- 避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供	1

1

A 基幹事業																
		事業	地域	交付	直接			77 D	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	事業実		全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1 	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名		31 R02 R03 R04	(百万円)	便益比	策定状況
		一体的に	 実施する	ることによ		 される効果										
		備考														
下水道事業		下水道	一般	大野市	直接	大野市	管渠(新設	中央・赤根・真名川幹線	150~300 L=40.0km (設計	大野市			3,858		-
	A07-001						汚水)		枝線整備 (未普及対策)	含む)						
				ı	1	1										
		下水道	一般	大野市	直接	大野市	終末処	新設	大野市下水処理センター	OD、最終沈殿池、次亜設備	大野市			335		_
	A07-002	1	/32	/(23.16		7 (23)	理場	371112		、汚泥脱水機等(設計含む)	7 (23) [5					
							12-70									
		1.334	4.0	1 === -		1 mz->-	·		_ Love -	> 1.60 cm 16.40 cm 16.00	1 ===	1 1		T		1.00
	A07-003	下水道	一般	大野市	直接	大野市	管渠 (-	下水道広域化推進総合事	汚水処理施設広域化・共同化	大野巾 			30		未策定
	A07-003)					汚水)		業	計画策定						
		広域化		_					_	_						
											小計			4,223		
											合計			4,223		
				I	1	1	ı		1	I.	<u>L</u>					
					1				1							
					T	T	1	T	T					1		
														_		
						<u> </u>								<u> </u>		

1 案件番号: 0000530770

基幹事業(大) 水道事業 (C07-001	備考 下水道	一般	大野市	直接			新設	(事業固所) 広報活動、環境教育の推 進	(延長・面積等) 広報活動、環境教育の推進	大野市	H30	H31 F	RO2 RO	R04	(百万円)	便益比	策定状況
	C07-001	備考 下水道	一般	大野市	直接	大野市			進	広報活動、環境教育の推進	大野市					5		-
	C07-001	下水道							進	広報活動、環境教育の推進	大野市					5		-
	C07-001								進	広報活動、環境教育の推進	大野市					5		-
- - -		基幹事業	である中	中央・赤根	・真名)	 幹線枝線整	備、下水											
_		基幹事業	である中	中央・赤根	・真名)	川幹線枝線整	備、下水	 処理セン										
-									′ターの増設に合わせ、下水′	・ 道の普及促進を図るため、パン		こよりに	 広報注	動、現	境教育	の推進を行う。	,	
_																		
											小計					5		
											'3 '41							
				I		I	1		I		T 4 + 1	1 1				_		
											合計					5		
													•					
-											T							T
							, ,		T			, ,						
																		<u> </u>
	ļ																	
	-			l	l	l	I	l										

案件番号: 0000530770

	事 1	发 評 価
	 -	Д H1 1M
事後評価の実施体制、実施時期		末火流/エッウ を見せ切
事後評価の実施体制		事後評価の実施時期
目標の達成状況やその要因を確認、取りま	まとめを行い、事業評価を実施	令和5年度
		() + 0 + > +
		公表の方法
		市のホームページに掲載
 事業効果の発現状況		
	計画的に下水道整備を進めることで 下	水道処理人口普及率の成果目標を達成し、より快適な暮らし環境を創造することがで
き	計画的に下水色亜幅を進めることで、下た。	小点是性人自自及中の成本自信を住成し、 より (人) は各自 () 域先を制定することが (
定量的指標に関連する		
交付対象事業の効果の発現状況		
定量的指標以外の交付対象事業の		
効果の発現状況(必要に応じて記述)		
#+*7=*** / A // a A // ** >		
特記事項(今後の方針等)		
・今後も計画的に下水道整備を進め、下	水迫処埋人口晋及率を局めることで、よ	り快適な暑らし境境の創造を目指す。

案件番号: 0000530770

目	標値の達ん		
来旦	指標(略	野称)	
留写	指標(略目標値/	実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	56%	
	最 終 実績値	57%	
		<u>I</u>	

1